

ニ－ゼロニ－ゼロ
東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み

アナ： 「市長が語る 2019 三島」第15回の今日は、「東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み」について、お話を伺います。豊岡市長、よろしくお願い致します。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： さて、市長、本題に入る前に、去る6月1日に嬉しいニュースが飛び込んできましたね。

市長： はい。そうなんです。来年の6月25日に、1964年の東京オリンピック以来、56年ぶりに、聖火がここ三島市を通ることが報道発表されました。

三島市にとって、大変喜ばしいニュースで、市民11万人の皆様とともに、この喜びを分かち合いたいと思います。

アナ： 本当に嬉しいニュースですね。市長は、この聖火リレーにどのようなことを期待されますか？

市長： はい。令和という新しい時代の聖火の光が、水と緑と人が輝くこの三島を照らし、三島市が更なる希望あふれる街となるとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックが成功裡に終わることを期待しています。

アナ： これから準備が大変かと思いますが、市民の皆さんに聖火リレーを楽しんで頂けるよう、是非頑張ってください。

市長： はい。市民の皆様は、安心・安全に、そして楽しく聖火リレーをご覧いただけるよう、市を挙げて、万全の準備を進めていきたいと思っています。

アナ： 是非宜しくお願い致します。

さて、来たる7月24日で、東京2020オリンピック・パラリンピックの開幕まで、ちょうど1年となりますね。静岡県内では自転車競技が行われるとのことですが、本番に向けて、三島市では、どのような準備をされているか、主な取組を教えてくださいませんか。

市長： はい。ご存知のとおり、伊豆市で「トラックレース」と「マウンテンバイク」、小山町などでは、富士スピードウェイをゴール地点とした「ロードレース」などの自転車競技が開催されます。

そのため、新幹線の乗換駅である三島駅には、大勢の外国人観戦客の皆様などが通過すると予想されております。

また、大会組織委員会が、メディアなどのために、三島市周辺のホテルを400室確保していると新聞報道されていますので、自転車競技が盛んな欧米のメディアを中心に、数多くの記者の皆様がオリンピック・パラリンピック期間中に、三島市に滞在すると予想しています。

そこで、三島市では、それら海外からのお客様の受入れのために、多言語表示

対応やWi-Fi環境整備を行う飲食店・宿泊施設などに対し、上限10万円で、費用の二分の一を補助する「インバウンドおもてなし事業費補助金」を創設しております。

また、ハード整備の部分では、多くの観戦客や大会関係者の皆様が快適に三島駅で乗り換えできるよう、駅前広場のユニバーサルデザイン化工事を実施する予定であります。

アナ：なるほど。ソフト面、ハード面、両輪で準備を進めているわけですね。

その他、オリンピック・パラリンピックの機運醸成にも努められていると伺いました。

市長：はい。7月1日から、三島大通り地区や三島駅前広場をオリンピック・パラリンピックのエンブレムをあしらったフラッグで装飾しました。

また、アメリカ男子バレーボールチームの事前合宿誘致の目的で、9月に同チームの強化合宿を受け入れる準備も進めております。

アナ：街中にフラッグが掲げられ、私もいよいよオリンピック・パラリンピックが日本に、そして、ここ静岡県に、来るんだなと実感します。

さて、最後となりますが、三島市からオリンピック・パラリンピックに向けて、日夜努力をしている二つのチームの選手の皆さんがいらっしゃいますよね。

市長：はい。三島市には、男子バレーボールチームの「東レアローズ」と自転車競技チームの「チームブリヂストンサイクリング」に、数多くの日本代表、日本代表候補の選手がいらっしゃいます。是非それら選手の皆様には、ここ三島で力を蓄え、東京2020オリンピック・パラリンピックで、大活躍されることを期待しております。

アナ：豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長：ありがとうございました。